

新しい市立美唄病院の建替えが始まります

～令和5年度末までの完成を目指して、着実に計画を進めていきます～



(外観イメージ図)

令和4年3月に策定した「市立美唄病院建替え基本設計」に基づき、新しい病院建替えの基礎となる建物の配置や構造、各階の基本的なレイアウトなどを定める実施設計が完了しましたので、概要についてお知らせします。

設計に当たっては、デザインビルド方式(※1)を採用した公募型プロポーザル(※2)によって、昨年7月に実施設計・施工者を選定し、設計段階から民間企業のノウハウを活用して、建設工事費の抑制や工事期間の短縮などに取り組んでいます。

設計の概要

1 設計方針

今後の超高齢社会を見据えて、「ふるさと美唄」において、安心して住み続けられる医療の提供とは何か、さらには、住み慣れた地域で人生の最期まで過ごすことができる地域社会の実現は喫緊の課題であり、地域包括な医療・介護・予防・住まい・生活支援の切れ目のないサービスを提供できる新たな社会システムづくりが不可欠であります。

このような状況の中、市立美唄病院の建替えに当たり超高齢社会で求められる多様な市民サービスを提供できる「新しい市立美唄病院」を計画します。

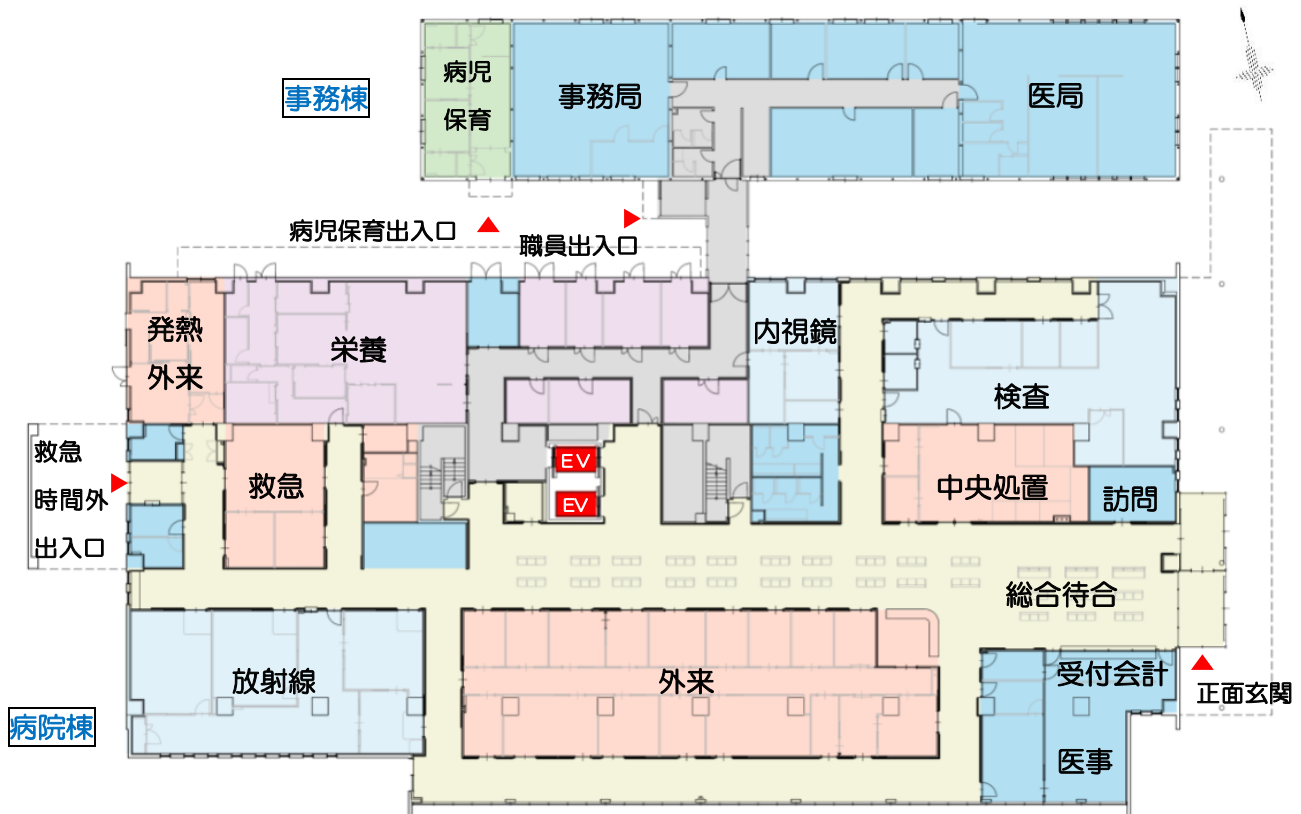
2 施設整備方針

- | | |
|----------------|------------------|
| ① 利用者の視点に立った病院 | ② 将来に備えて汎用性のある病院 |
| ③ 災害に強い病院 | ④ 職員が働きやすい病院 |
| ⑤ 感染症対策 | ⑥ 環境に配慮した病院 |

3 建築概要

- 建設場所：美唄市西2条北1丁目（現病院敷地内）
- 敷地面積：16,820.39㎡
- 規模：病院棟/鉄筋コンクリート造、地上3階、塔屋1階
事務棟/軽量鉄骨造、地上1階
- 延床面積：6,498㎡（病院棟 5,998㎡+事務棟 500㎡）
- 病床数：一般病棟 43床（うち地域包括ケア病床 15床）、療養病棟 32床 合計 75床、人工透析 30床
- 診療科目：内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科

【1階平面図】



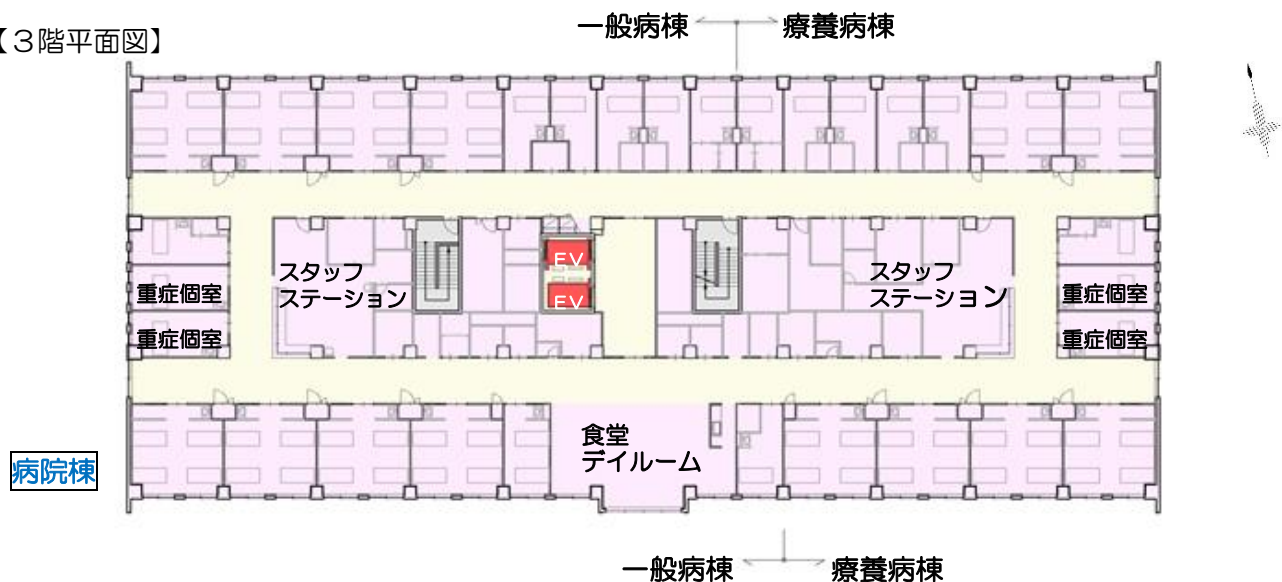
- ① 外来部門は、外来患者にとってわかりやすい位置に配置します。
- ② 救急部門は、救急出入口からスムーズにアクセスできる配置とします。
- ③ 事務局、医局等は、将来の病院改変時にフレキシブルに移転がしやすいように、別棟に配置します。

【2階平面図】



- ① 多目的室は、スライディングウォールにより、3分割できるつくりとし少人数の会議に利用できます。また、1室として利用する際は多職種との会議、講演会等を行うことも可能です。

【3階平面図】



- ① 病棟部門は、空知神社、中央公園の緑を眺めることができる南側に食堂・デイルームを設けます。
- ② スタッフステーションは、一般病棟、療養病棟ともに動線を短縮し、病室を看守りやすい配置とします。
- ③ 重症個室はスタッフステーションの正面に配置します。

5 主な計画について

■ 防災計画

- ① 水害時を想定した計画
 - ・浸水対策として、出入口に防水板の設置を検討します。
 - ・機械室や変電設備・非常用発電機は2階以上に計画することで、室内への浸水を防ぎます。
- ② 耐震性能の確保
 - ・地震対策として、建物は耐震構造を採用し、震度6強に耐えられる構造とします。
- ③ 災害時の機能確保
 - ・災害停電時に非常用発電機により、3日間連続して医療・救護を行なえるようにします。

■ 院内感染対策計画

- ① 正面玄関の出入口の動線を分けられるようにします。
- ② 3階病棟エレベーターホールには、ウイルス対策のための扉を設けます。
- ③ 室内空気は、空調機器内蔵型ウイルス抑制装置を採用することでウイルスを抑制します。
- ④ 十分な換気量を確保することにより、二酸化炭素濃度を低減します。
- ⑤ ウイルスや細菌が外部に流出することを防ぎ、病棟には陰圧室を2室設置します。

■ コスト縮減計画

- ① イニシャルコストの縮減
 - ・類似物件の実勢単価や仕様調査に基づいて適切な工事単価を設定することでコスト縮減を行います。
 - ・事務棟部分に平屋建て軽量鉄骨造を採用することにより、大幅なコスト縮減を図ります。
 - ・軽量鉄骨造は将来変化する医療ニーズへの対応が容易で、増築や減築なども可能とします。
- ② ランニングコストの縮減
 - ・空調負荷の低減によるコスト縮減を図ります。
 - ・外壁タイルやガラスは、自浄作用のあるものを採用し、維持管理費用を縮減します。
 - ・床仕上げ材は、ワックス必要とせず、汚れが目立ちにくい材料を採用し、維持管理費用を縮減します。
 - ・設備機器、内外装材などは、メンテナンスが簡単なものを採用し、維持管理、修繕コストを縮減します。

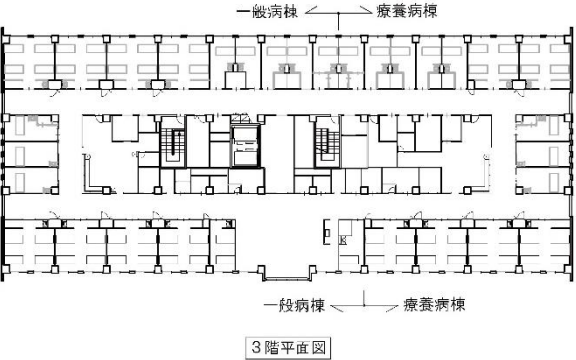
6 病床転換のイメージ

将来の病床数及び機能は、今後の人口減少、高齢化や在宅医療の状況を踏まえ、建替え後 5 年ごとを目途に見直すこととし、開院当初の一般病棟 43 床、療養病棟 32 床の計 75 床から、15 年後には回復期を中心とした 60 床への機能・規模変更を行うこととしています。

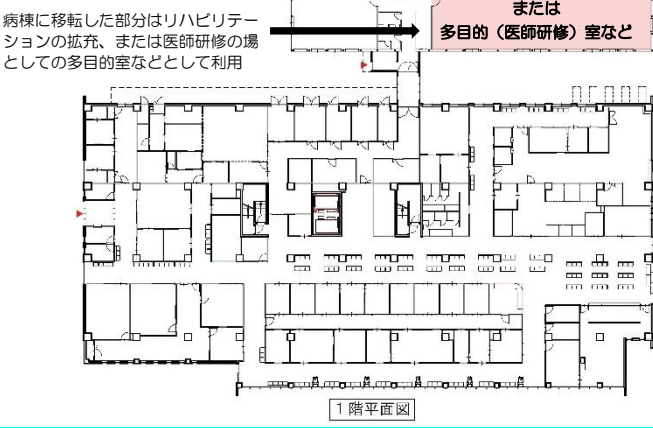
また、事務棟は、今後拡充が必要となるリハビリテーションや医師の教育研修機能等に転用し効果的な活用を図ります。

■ 病床転換のイメージ

開院時 一般病棟 43 床 療養病棟 32 床 合計 75 床



開院 15 年後 地域包括ケア病棟 60 床



■ 開院から5年ごとの病床数

開 院 時	一般病棟 43 床	療養病棟 32 床	合計 75 床
開 院 5 年 後	一般病棟 43 床	療養病棟 30 床	合計 73 床
開 院 1 0 年 後	一般病棟 43 床	療養病棟 27 床	合計 70 床
開 院 1 5 年 後	地域包括ケア病棟		合計 60 床

7 事業スケジュール・概算事業費・財源

■ 事業スケジュール

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
建 設 工 事	新病院実施設計・建設工事			
解体・外構実施設計		解体工事実施設計	外構工事実施設計	
現 病 院 解 体 工 事			現病院解体工事	
外 構 工 事				外構工事

基本設計時のプランであり、今後変更する場合があります。

■ 概算事業費

区 分	金額（億円）	備 考
建 設 工 事	37.1	新病院の建設工事費
解体・外構工事	5.1	現病院解体工事費、駐車場整備費等
医療機器等整備費	2.0	医療機器、備品の購入費
そ の 他 経 費	1.6	設計費、調査費など
合 計	45.8	

■ 財源

区 分	金額（億円）	備 考
地 方 債	34.8	過疎対策事業債、病院事業債
補 助 金 等	10.5	国庫補助金
基 金	0.1	美唄市医療等拠点施設整備基金
一 般 財 源	0.4	
合 計	45.8	

概算事業費は、現時点での試算であり、社会情勢等により変動する場合があります。

※1 デザインビルド方式：設計と施工を一括して担う事業者を選定することで、コストの削減や品質の確保、工期短縮などが期待される方式
※2 プロポーザル方式：建築物の設計者と施工者を選定する際に、提出された技術提案の中から、最も優れた設計者と施工者を選定する方式